

為政第二

子游問孝。子曰、今之孝者、是謂能養。
至能有養。不敬、何以別乎。

子游、孝を問う。子曰わく、今の孝は、是れ能く養うを謂う。
犬馬に至るまで、皆能く養うこと有り。敬せずんば、何を以て別たんや。

(2-23)

<子游、孝を問う。>

Q:「子游、孝を問う。」とは何ですか。

A: (1)「ある時、門人の子游が孝について尋ねた。」の意。
(2)「子游が孝を質問した」の意。

<子曰わく、今の孝は、是れ能く養うを謂う>

Q:「子曰わく、今の孝は、是れ能く養うを謂う」とは何ですか。

A: (1)「孔子は答えた。現今世間では、親に対して、目に見えた奉仕をすることが孝であると考えている」の意。
(2)「このごろの孝は、よく親を養えばよいということのようだ」の意。
(3)「能養」とは、飲食、衣食、住居などに、不自由のない生活をさせて善くつかえること。

<犬馬に至るまで、皆能く養うこと有り>

Q:「犬馬に至るまで、皆能く養うこと有り」とは何ですか。

A: (1)「しかし、奉仕するという事だけならば、犬や馬だって人間に奉仕する。」の意。
(2)「しかし、犬や馬であっても飼う以上は能く養っているではないか」の意。
(3)「能有養」とは、犬や馬も人からよく養われている。(2)の説。
・ただ「犬は守禦し、馬は以て勞に代る。皆人を養ふ者」といって犬馬に至るまで人を養う。従って、養うだけでは犬馬と異なるところが無いというのが(1)の説。

<敬せずんば、何を以て別たんや。>

Q:「敬せずんば、何を以て別たんや」とは何ですか。

A: (1)「敬う心がなかったなら、どうして犬や馬と区別できるだろうか」の意。
(2)「親が尊敬する心がなかったら、何で親と犬馬とを区別しようぞ。親に対しては、愛敬の心を持って尊ぶことが大切で、よく養うだけでは親不孝ともなるのだ」の意。
(3)「敬」とは、心に敬意を以て尊ぶこと。

2011年6月20日林明夫記